

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-4147

(P2014-4147A)

(43) 公開日 平成26年1月16日(2014.1.16)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
<b>A 4 7 B 57/18</b> (2006.01)	A 4 7 B 57/18	3 B 0 6 0
<b>A 4 7 B 83/04</b> (2006.01)	A 4 7 B 83/04	

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2012-142102 (P2012-142102)  
 (22) 出願日 平成24年6月25日 (2012. 6. 25)

(71) 出願人 000000561  
 株式会社岡村製作所  
 神奈川県横浜市西区北幸2丁目7番18号  
 (74) 代理人 100114890  
 弁理士 アイゼル・フェリックス＝ライ  
 ンハルト  
 (72) 発明者 細谷 らら  
 神奈川県横浜市西区北幸2丁目7番18号  
 株式会社岡村製作所内  
 Fターム(参考) 3B060 AD01

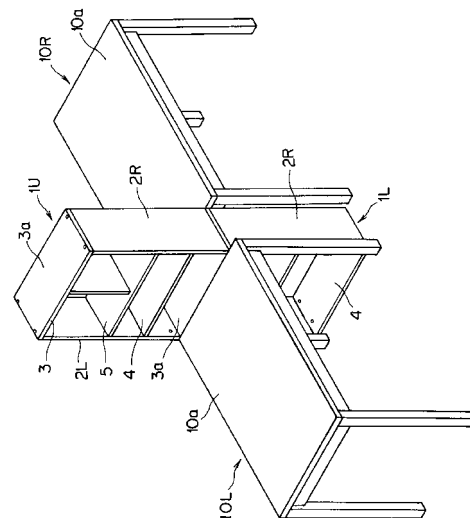
(54) 【発明の名称】 デスクサイド書棚

(57) 【要約】

【課題】 上下2段に重ねて使用した場合でも、机の天板面を拡張した面一の天板面を得ることができるデスクサイド書棚を提供する。

【解決手段】 一对の側板 2 L、2 R と、両側板 2 L、2 R の上端部に設けられた天板 3 と、両側板 2 L、2 R の下端部に設けられた底棚板 4 と、両側板 2 L、2 R の高さ方向中間位置に設けられた中棚板 5 とを有する。底棚板 4 は、両側板 2 L、2 R の下端部から取り外し可能に構成され、両側板 2 L、2 R の高さ方向中間位置には、取り外した底棚板 4 を取り付けるための取付部 2 a が設けられている。書棚 1 を上下2段に重ねて使用する場合においても、上段の書棚 1 U の底棚板 4 を取り外せば、下段の書棚 1 U の天板面 3 a が露出し、机 1 0 の天板面 1 0 a と面一になるので、机 1 0 の天板面 1 0 a を下段の書棚 1 U の天板面 3 a によって拡張できる。取り外した底棚板 4 は、取付部 2 a に取り付けることにより中棚板として使用できる。

【選択図】 図 1 3



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

一対の側板と、  
 両側板の上端部に架け渡して設けられた天板と、  
 両側板の下端部に架け渡して設けられた底棚板と、  
 両側板の高さ方向中間位置に架け渡して設けられた中棚板とを有し、  
 前記底棚板は、両側板の下端部から取り外し可能であり、  
 前記中棚板は、両側板の下端部から取り外した前記底棚板をその下面に重ねて取り付け可能であることを特徴とするデスクサイド書棚。

**【請求項 2】**

前記中棚板の後端部には、当該中棚板に載せた収納物の後方へのはみ出しを阻止するストッパが設けられており、  
 前記底棚板の後端部には、当該底棚板に載せた収納物の後方へのはみ出しを阻止するストッパが設けられており、  
 両側板の下端部から取り外した前記底棚板を上下逆にして前記中棚板の下面に取り付ける際に、前記底棚板の前記ストッパを前後どちらにでも選択的に配置して取り付け可能である、請求項 1 記載のデスクサイド書棚。

**【請求項 3】**

一対の側板と、  
 両側板の上端部に架け渡して設けられた天板と、  
 両側板の下端部に架け渡して設けられた底棚板とを有し、  
 前記底棚板は、両側板の下端部から取り外し可能であり、  
 両側板の高さ方向中間位置には、両側板の下端部から取り外した前記底棚板を架け渡して取り付けのための取付部が設けられていることを特徴とするデスクサイド書棚。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、自立式の書棚、特に、机と並べて使用される所謂デスクサイド書棚に関する。

**【背景技術】****【0002】**

天板面の高さが互いに等しい学習機とデスクサイド書棚（以下、単に「書棚」と記す。）とをセットにした学習機システムが知られている。この種の学習機システムは、学習機と書棚とを並べて使用することにより、学習機の天板面を書棚の天板面によって拡張し、広い天板面を確保することができる。

**【0003】**

学習機システムには、同形同寸の書棚を二つ備えたものがある。この種の学習機システムによれば、図 15 に示すように、二つの書棚 40U（40）、40L（40）を上下 2 段に重ねて使用することができる。図 15 の例では、書棚 40U、40L を挟んで左右両側に学習機 10L、10R を配置することにより、上下 2 段に重ねた書棚 40U、40L に左右両方の学習機のユーザがアクセスできるようにしている。

**【発明の概要】****【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

しかし、従来 of 学習機システムにおける書棚 40 は、図 15 に示すように上下 2 段に重ねて使用した場合、上段の書棚 40U の底部の棚板 41 が下段の書棚 40L の天板 42 に重なり、学習機 50 の天板面 10a よりも上段の書棚 40U の底部の棚板 41 の天板面 41a の方が高くなるため、両天板面 10a、41a の境目に段差ができ、学習機 10 の天板面 10a を拡張した面一 of 天板面とすることができない。また、上下二段に重ねた場合に、上段の書棚 40U の底部の棚板 41 を取り外すことも考えられるが、外した棚板 41

10

20

30

40

50

を別途保管する必要があった。

【0005】

本発明が解決しようとする課題は、上下2段に重ねて、机と並べて使用した場合に、当該機の天板面を拡張した面一の天板面を得ることができる書棚を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記課題を解決するために、第1の発明の書棚は、一对の側板と、両側板の上端部に架け渡して設けられた天板と、両側板の下端部に架け渡して設けられた底棚板と、両側板の高さ方向中間位置に架け渡して設けられた中棚板とを有し、

前記底棚板は、両側板の下端部から取り外し可能であり、

前記中棚板は、両側板の下端部から取り外した前記底棚板をその下面に重ねて取り付け可能であることを特徴とする。

【0007】

上記のように構成された書棚は、書棚の天板面（天板の上面）と同じ高さの天板面を有する机と並べて使用することにより、机の天板面を書棚の天板面によって拡張し、広い天板面を確保することができる。書棚を上下2段に重ねて使用する場合においても、上段の書棚の両側板の下端部から底棚板を取り外せば、下段の書棚の天板面が露出し、机の天板面と面一になるので、机の天板面を下段の書棚の天板面によって拡張することができる。取り外した底棚板は、上段の書棚の中棚板の下面に重ねて取り付けることにより、上段の書棚に収容できる。

【0008】

第1の発明の書棚において、

前記中棚板の後端部には、前記中棚板に載せた収納物の後方へのはみ出しを阻止するストッパが設けられており、

前記底棚板の後端部には、前記底棚板に載せた収納物の後方へのはみ出しを阻止するストッパが設けられており、

両側板の下端部から取り外した前記底棚板を上下逆にして前記中棚板の下面に取り付ける際に、前記底棚板の前記ストッパを前後どちらにでも選択的に配置して取り付け可能であることが望ましい。

【0009】

上記のように構成された書棚は、両側板の下端部から取り外した底棚板を上下逆にして中棚板の下面に取り付ける際に、底棚板のストッパを前後どちらにでも選択的に配置して取り付け可能であるので、底棚板のストッパの前後位置を中棚板のストッパの前後位置に合わせて取り付けすることも、底棚板のストッパの位置と中棚板のストッパの位置とが互い違いになるように取り付けすることもできる。

【0010】

また、第2の発明の書棚は、

一对の側板と、

両側板の上端部に架け渡して設けられた天板と、

両側板の下端部に架け渡して設けられた底棚板とを有し、

前記底棚板は、両側板の下端部から取り外し可能であり、

両側板の高さ方向中間位置には、両側板の下端部から取り外した前記底棚板を架け渡して取り付けするための取付部が設けられていることを特徴とする。

【0011】

上記のように構成された書棚は、書棚の天板面（天板の上面）と同じ高さの天板面を有する机と並べて使用することにより、机の天板面を書棚の天板面によって拡張し、広い天板面を確保することができる。書棚を上下2段に重ねて使用する場合においても、上段の書棚の両側板の下端部から底棚板を取り外せば、下段の書棚の天板面が露出し、机の天板面と面一になるので、机の天板面を下段の書棚の天板面によって拡張することができる。取り外した底棚板は、上段の書棚の両側板の高さ方向中間位置に架け渡して取り付けらるこ

10

20

30

40

50

とにより、上段の書棚の中棚板として利用できる。

【発明の効果】

【0012】

本発明によれば、書棚を上下2段に重ねて使用する場合においても、上段の書棚の両側板の下端部から底棚板を取り外せば、下段の書棚の天板面が露出し、机の天板面と面一になるので、机の天板面を下段の書棚の天板面によって拡張することができる。しかも、取り外した底棚板を上段の書棚に収容できるので、これを別途保管する必要がない。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図1】本発明の書棚の実施形態を例示する斜視図

10

【図2】図1の書棚の正面図

【図3】(A)底棚板を取り外した状態の斜視図 (B)底棚板の斜視図

【図4】底棚板を中棚板の下面に重ねて取り付けした使用形態の斜視図

【図5】図4の使用形態の別方向の斜視図

【図6】本発明の書棚を上下2段に重ねた使用形態の斜視図

【図7】図6の使用形態の別方向の斜視図

【図8】上段の書棚の底棚板を下段の書棚の中棚板として使用した使用形態の斜視図

【図9】図8の使用形態の別方向の斜視図

【図10】本発明の書棚を上下2段に重ねた別の使用形態の斜視図

【図11】図9の使用形態の別方向の斜視図

20

【図12】図1の書棚を机の左右両側に並べた使用形態の斜視図

【図13】図10の書棚を挟んで左右両側に机を配置した使用形態の斜視図

【図14】本発明の書棚を上下2段に重ねた使用形態の断面図

【図15】従来の書棚を上下2段に重ねた使用形態の斜視図

【発明を実施するための形態】

【0014】

以下、本発明の実施の形態を図示例に基づき説明する。

【0015】

[構成]

図1及び図2に例示するように、書棚1は、一对の側板2L、2Rと、両側板2L、2Rの上端部に架け渡して設けられた天板3と、両側板2L、2Rの下端部に架け渡して設けられた底棚板4と、両側板2L、2Rの高さ方向中間位置に架け渡して設けられた中棚板5とを有する。天板3と中棚板5との間には、仕切板6が設けられている。中棚板5は、両側板2L、2Rと天板3と底棚板4とにより囲まれた空間を上下に二分割している。仕切板6は、両側板2L、2Rと天板3と中棚板5とにより囲まれた空間を水平方向に二分割している。

30

【0016】

底棚板4は、図示しない棚ダボなどの係止部材を介して両側板2L、2Rに取り付けられており、当該係止部材との係止状態を解除することにより、図3に示すように両側板2L、2Rの下端部から取り外すことができる。係止部材は、両側板2L、2Rの下端部の前後両端近傍に設けられた係止部材取付孔2bに取り付けられる。

40

【0017】

底棚板4の両端近傍には、螺子挿通孔4bが二箇所ずつ設けられている。螺子挿通孔4bは、底棚板4を板厚方向に貫通している。

【0018】

底棚板4の後端部には、底棚板4に載せた本などが書棚1の後方にはみ出すのを防止するためにストッパ4aが設けられている。ストッパ4aは、底棚板4の後端から直角に起立した板状の部材であり、底棚板4の全長に亘って設けられている。

【0019】

中棚板5は、両側板2L、2Rの下端部から取り外した底棚板4をその下面5aに重ね

50

て取り付けるための取付部を有している。取付部は、底棚板 4 の螺子挿通孔 4 b の位置に対応させて中棚板 5 の下面 5 a の四箇所に形成された図示しない螺子孔からなる。両側板 2 L、2 R の下端部から取り外した底棚板 4 を上下反転させて中棚板 5 の下面に重ねた状態で、底棚板 4 の各螺子挿通孔 4 b に螺子 7 (図 1 4 参照) を挿通して、中棚板 5 の取付部 (螺子孔) に締着することにより、図 4 及び図 5 に示すように、底棚板 4 を中棚板 5 の下面 5 a に重ねて取り付けることができる。

**【 0 0 2 0 】**

中棚板 5 の後端部には、中棚板 5 に載せた本などが書棚 1 の後方にはみ出すのを防止するためにストッパ 5 b が設けられている。ストッパ 5 b は、中棚板 5 の後端から直角に起立した板状の部材であり、中棚板 5 の全長に亘って設けられている。

10

**【 0 0 2 1 】**

両側板 2 L、2 R には、底棚板 4 と中棚板 5 との中間に位置させて、両側板 2 L、2 R の下端部から取り外した底棚板 4 を両側板 2 L、2 R 間に架け渡して取り付けるための取付部 2 a が設けられている。取付部 2 a は、底棚板 4 と中棚板 5 からほぼ等距離の位置に設けられている。この取付部 2 a は、両側板 2 L、2 R の前後両端近傍に設けられた係止部材取付孔からなる。両側板 2 L、2 R の下端部から取り外した底棚板 4 を、取付部 2 a に取り付けられた棚ダボなどの係止部材を介して両側板 2 L、2 R に保持させることにより、図 8 及び図 9 に示すように、両側板 2 L、2 R 間に底棚板 4 を架け渡して取り付けることができる。

**【 0 0 2 2 】**

20

**[ 作用 ]**

上記のように構成された書棚 1 は、図 1 2 に示すように、書棚 1 の天板面 3 a と同じ高さの天板面 1 0 a を有する机 1 0 と並べて使用することにより、机 1 0 の天板面 1 0 a を書棚 1 の天板面 3 a によって拡張し、広い天板面 1 a、3 a を確保することができる。

**【 0 0 2 3 】**

書棚 1 を上下 2 段に重ねて使用する場合においても、図 6 及び図 7 に示すように、又は、図 1 0 及び図 1 1 に示すように、上段の書棚 1 U の両側板 2 L、2 R の下端部から底棚板 4 を取り外せば、下段の書棚 1 L の天板面 3 a が露出し、図 1 3 に示すように、机 1 0 L、1 0 R の天板面 1 0 a と下段の書棚 1 L の天板面 3 a とが面一になるので、机 1 0 の天板面 1 0 a を下段の書棚 1 の天板面 3 a によって拡張することができる。また、書棚 1 U、1 L を挟んで左右両側に机 1 0 L、1 0 R を配置することにより、上下 2 段に重ねた書棚 1 U、1 L に左右両方の机 1 0 L、1 0 R のユーザからもアクセスできる。上段の書棚 1 U のみならず下段の書棚 1 L も左右両方のユーザが相互に使用することができる。

30

**【 0 0 2 4 】**

図 6 及び図 7 に示すように、底棚板 4 を上下反転させて中棚板 5 の下面 5 a に重ねて取り付けた状態においても、底棚板 4 のストッパ 4 a は、下段の書棚 1 の天板面 3 a 上に並べた本が書棚 1 の後方にはみ出すのを防止する機能を発揮し得る。

**【 0 0 2 5 】**

上段の書棚 1 U の下端部から取り外した底棚板 4 は、図 6 及び図 7 に示すように、上段の書棚 1 U の中棚板 5 の下面 5 a に重ねて取り付けることにより、或いは、図 1 0、図 1 1 に示すように、上段の書棚 1 U の中棚板 5 の下方に取り付けて中棚板として使用することにより、上段の書棚 1 U に収容できる。上段の書棚 1 U から取り外した底棚板 4 を、下段の書棚 1 L に収容することも可能である。このように、上段の書棚 1 U から取り外した底棚板 4 を、上段の書棚 1 U 又は下段の書棚 1 L に収容可能としたため、底棚板 4 を別途保管する必要がない。

40

**【 0 0 2 6 】**

また、両側板 2 L、2 R の下端部から取り外した底棚板 4 を上下逆にして中棚板 5 の下面 5 a に取り付ける際に、底棚板 4 のストッパ 4 a を前後どちらにでも選択的に配置して取り付け可能であるので、底棚板 4 のストッパ 4 a の前後位置を中棚板 5 のストッパの前後位置に合わせて取り付けることも (図 9)、底棚板 4 のストッパ 4 a の位置と中棚板 5

50

のストッパ 5 b の位置とが互い違いになるように取り付けられることもできる（図 1 4）。

【 0 0 2 7 】

図 1 4 に示すように、上段の書棚 1 U の中棚板 5 のストッパ 5 b と底棚板 4 のストッパ 4 a が互い違いになるように、底棚板 4 を中棚板 5 の下面 5 a に取り付けることにより、左右のユーザが上段の書棚 1 U の中棚板 5 で仕切られた上下の空間を別個に使用することができる。

【 0 0 2 8 】

なお、上記実施の形態では、両側板 2 L、2 R の下端部から取り外した底棚板 4 を、（ 1 ）中棚板 5 の下面 5 a に重ねて取り付けることができる構成及び（ 2 ）両側板 2 L、2 R の高さ方向中間位置に架け渡して取り付けることができる構成を備えた書棚 1 U、1 L 10

【 0 0 2 9 】

また、図 1 4 の例では、底棚板 4 が中棚板 5 に螺子 7 で締着固定しているが、底棚板 4 と中棚板 5 とをコ字形金具等で上下から挟み込んで固定してもよい。

【 符号の説明 】

【 0 0 3 0 】

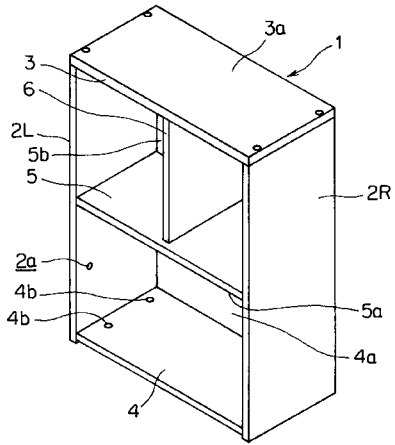
- 1 書棚
- 2 L、2 R 側板
- 2 b 取付部
- 3 天板
- 3 a 天板面
- 4 底棚板
- 4 a ストッパ
- 4 b 螺子挿通孔
- 5 中棚板
- 5 a 下面
- 5 b ストッパ
- 6 仕切板
- 7 螺子
- 1 0 机
- 1 0 a 天板面

10

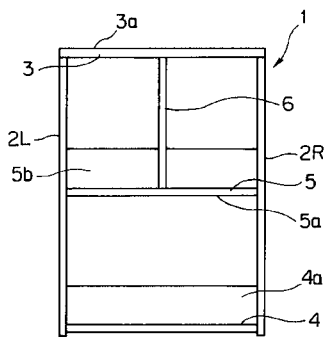
20

30

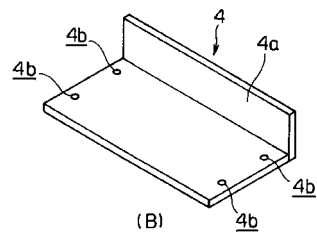
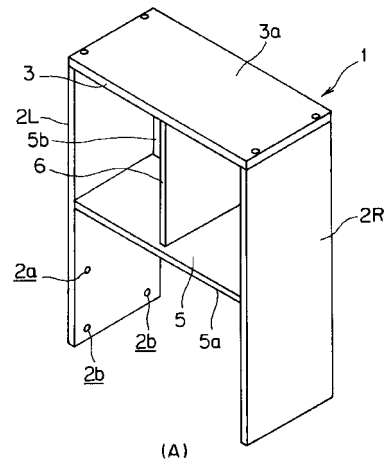
【 図 1 】



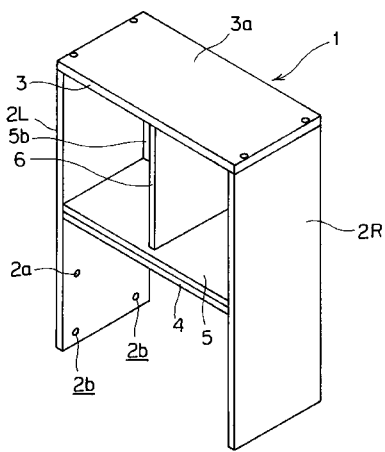
【 図 2 】



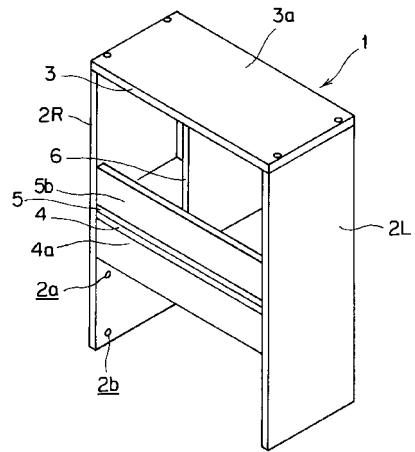
【 図 3 】



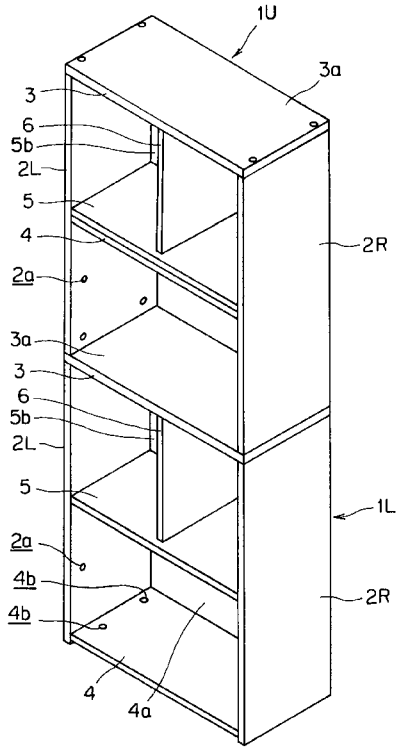
【 図 4 】



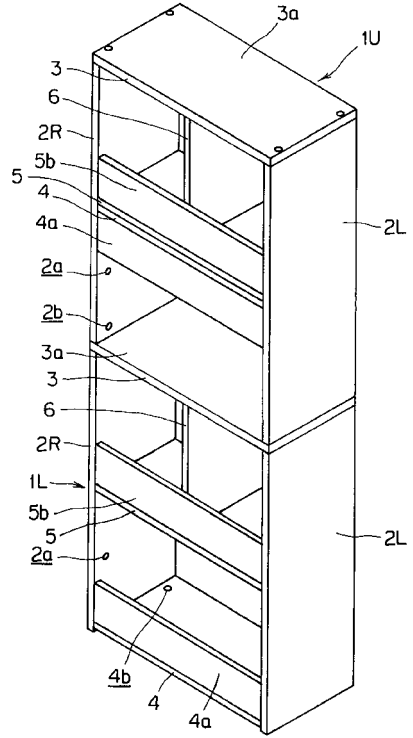
【 図 5 】



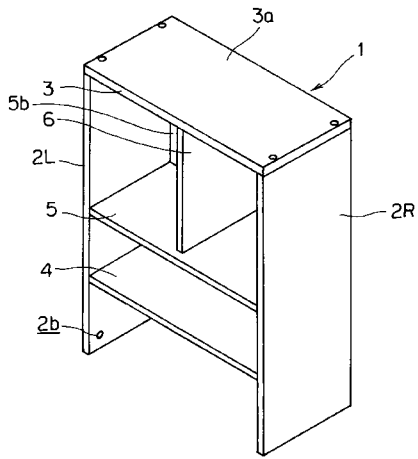
【 図 6 】



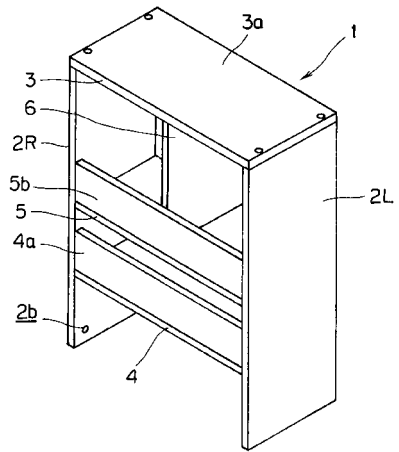
【 図 7 】



【 図 8 】

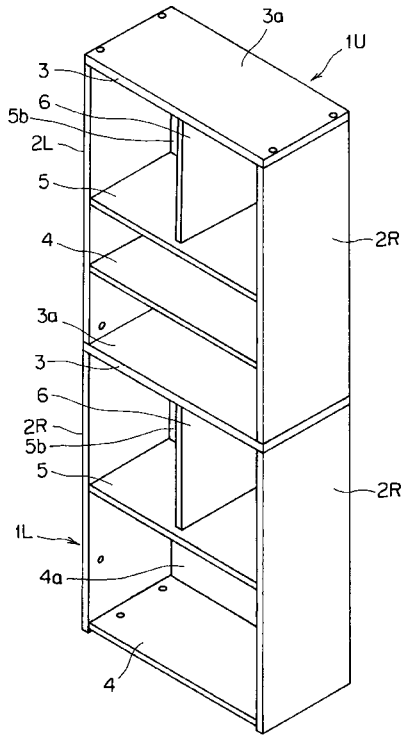


【 図 9 】

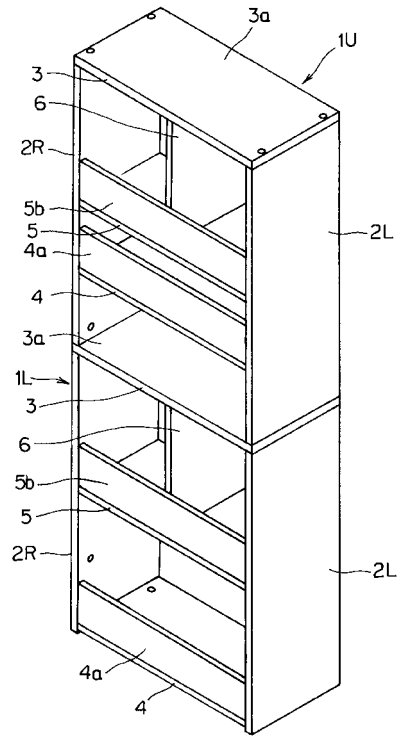




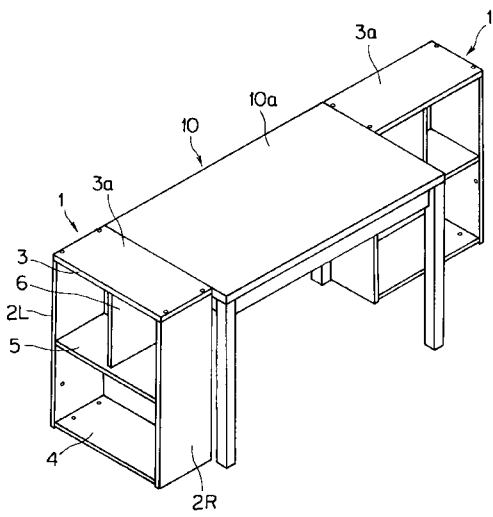
【図 10】



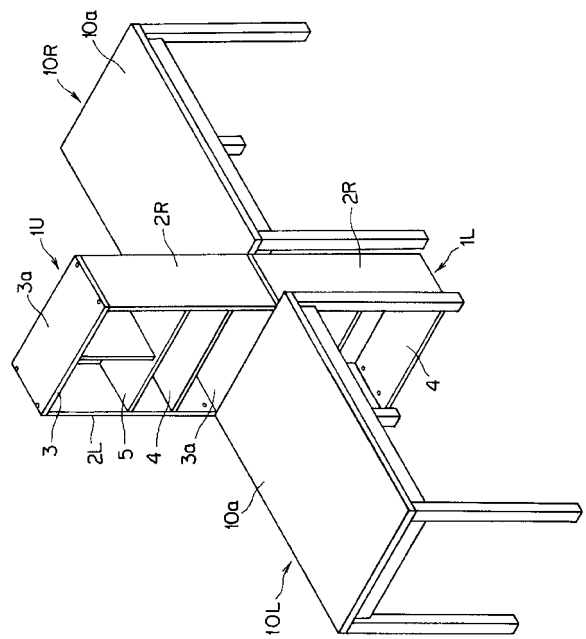
【図 11】



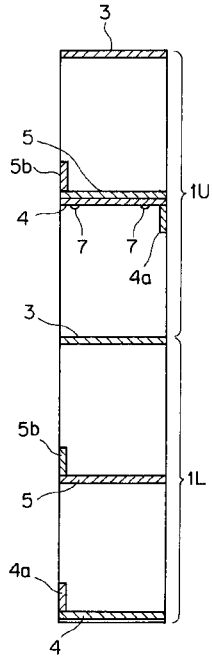
【図 12】



【図 13】



【 図 1 4 】



【 図 1 5 】

